

月刊 MARUSHO

2018年 1月号

丸庄発、選りすぐりの情報をお届けします。



今年初めの運試し、弊社から届いた年賀状をお手元にご用意ください。

丸庄は今年、
おかげさまで
創業200年

株式会社丸庄は、西暦1818年(文政元年)千住の宿場町に和紙問屋として、丸庄(屋号:丸屋 名:庄兵衛)はその産声を上げました。それから、110年後の1928年に現在の印刷業務をスタートさせ、おかげさまで創業200年、印刷会社設立90年という記念すべき年を迎えます。今年は、皆様に感謝の気持ちを込めた様々なお得なキャンペーンや商品をお届けして参ります。本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。

時を超え、今も受け継がれる想いがあります

日本には創業200年を超える企業が3146社あり、世界最多となっているようですが、10年存続率は10%、30年では2%、50年では0.7%、100年生き抜く企業は0.3%。これが企業の寿命(存続率)と言われています。200年続けてこられたのも、これまでお取引引きさせて頂いた2,000社にのぼるお客様あってことだと思っております。

「お客様の目線で、ともに考え、ともに歩む。そして、企業と企業、人と人をつなぐ」そんな存在でありたい、創業当時から守り続けた思いを原点にお客様に役立つサービス、商品とは何か改めて考え、販促担当の方の問題を解決するアイテム・商品カタログ「まるカタ」や印刷をより身近に感じて頂きたい思いで「相談できる印刷通販・まるイロ」のサイトを立ち上げて参りました。これからも、「販促で企業と人をつなぐ」プロモーションパートナーとして、日々の活動に取組んで参ります。

文政元年(一八一八年)、
和紙問屋として誕生した丸庄は、
おかげさまで創業二〇〇年を迎えます。
これからも、長い歴史の中で培ってきた信頼を
誠実な対応で積み重ねてまいります。



創業二〇〇年



MARUSHO年賀状とコインをご用意ください

今年の弊社の年賀状は全部で3種類。お客様によって届く内容が異なりますが、今年は全ての年賀状に削りカスのでないスマートスクラッチをつけました!今年初めの運試しとして、コインと一緒にご用意ください。はずれくじはございませんので、ご安心を。何が当たるかは削ってからの楽しみです。



今年の丸庄の年賀状は
この3種類です。

削りカスのでないスクラッチの仕組み

スマートスクラッチの印刷は従来のように「削る」(銀などのインキで隠蔽する)スクラッチではなく、特殊なインキを活用し、コイン(100円玉)などで圧力を加える(擦る)ことによって、印刷された文字が浮き出てくる仕組みになっています。スマートスクラッチインキにはコインよりも硬い材料を含ませており、印刷部分をコインで擦ったときにコインのほうに削れて、隠していた部分に削れた金属粉が付いて文字や絵柄が浮かび上がります。また、削りカスが出ないため衛生的なスクラッチです。

削りカスが出ないので衛生的で、お子様向けや飲食関係でもご利用いただけます。ダイレクトメールや名刺など販促ツールとしてもオススメです。

スクラッチ部分の形状は、丸や四角だけでなく自由な形状が可能です。

※ただし細かい文字や柄、尖った形は表現できません。つぶれてしまう可能性があります。



紅白の豆知識

大晦日に、紅白歌合戦をご覧になった方もいらっしゃると思います。紅白がまぼこ、紅白の垂れ幕など、「紅白」は縁起の良い色の組み合わせ代表として扱われています。なぜ、「赤」と「白」なのでしょう？ 紅白の色について調べてみました。

紅白の歴史は、源平合戦からきている？

源平合戦は、権力者だった平家と対抗勢力の源氏が戦闘を繰り広げ、平家政権の崩壊と源氏による鎌倉幕府の樹立につながった戦いです。この戦いを象徴するのが、両軍が

持った旗。敵と味方を区別するために、平家があか、源氏がしろの旗をたなびかせ、あか対しろの構図はここからきているそうです。

赤は「出生」、白は「死」を連想して、
紅白は一生を表しているということも

「赤」色が「赤ちゃん」、つまり「出生」を意味していて、還暦に紅色のちゃんちゃんこを着るのも、ここから来ています。出生は喜びそのものです。「白」色が死装束の色のように「死」や「別れ」を意味するというのがあります。生と死の2つの色を組み合わせることによって「人生」そのものを表しているということでしょうか。お祝い事の節目に赤や白が使われる理由はこの辺りからきているのかもしれませんが。

赤白ではなく、なぜ紅白なのか



紅白はなぜ、紅白(コウハク)なのでしょう？赤白(セキハク)とは言わないのでしょうか？それは、漢字発祥の地・中国の影響と言われています。漢字の読みにおいて、「セキ」という意味が中国では「赤裸々」「赤貧」などのように「裸」「むき出し」などの悪い意味を持つためです。現代でも中国では「赤」と言う文字は使用せず、あかい意味で「紅」の文字が使われています。

小学校の運動会でお馴染みの帽子は紅白帽？ 赤白帽？

NHK放送文化研究所では、この帽子の呼び名についてウェブ上でアンケートをおこなったそうです。まず全体としては、紅白帽(こうはくぼう)29%・赤白帽(あかしらぼう)60%と、赤白帽のほうが多い結果になりました。ただし地域による差が大きく、それぞれの回答者が通っていた小学校の地域別に集計してみると、紅白帽は東日本、特に北海道・東北で多く使われていることばであることがわかったそうです。また年代別には、赤白帽は若い年代になるほど多く回答されました。今後は赤白帽が増えていきそうですね。



ニッチな情報を毎週水曜日配信中! ▶

展示会・イベント会場で大活躍!
歩く広告としてPR効果を発揮!!

プロモバッグ

まるカタ Vol.7
P.39に掲載

展示会・セミナー・店舗でのイベントキャンペーンで販促品を配布するための袋です。配布物・ノベルティと一緒にご相談ください。セット作業も承ります。

1月中にご注文いただいたお客様を対象に
デザイン制作からの場合は表示価格より10%
印刷のみの場合は5%割引致します。
この機会にぜひご注文ください。

詳しいご質問・お問い合わせは弊社営業担当まで。

Tel. 03-3881-2131(代)



【片面白ベタ/片面透明】
中の商品を見せながら
片面印刷で広告宣伝。

プロモバッグ

500枚: **¥91,500**

サイズ: W250×H400mm
材質: OPP/LLDPE80μ
仕様: 片面カラー